

# 超福祉の学校 2020オンライン

～障害の有無をこえて共に学び、つくる共生社会フォーラム～

2020.9.5(sat),6(sun)

渋谷ヒカリエのスタジオよりオンライン配信

主催:文部科学省

共催:NPO法人ピープルデザイン研究所

<b>開催概要/ 会場風景/ライブペインティング</b>	3ページ
<b>&lt; DAY1 9月5日 (土) &gt;</b>	
1.障害のある人の学びの場×コミュニティ・デザイン	4ページ
2.障害のある人の学びの場×コミュニティ・デザイン～アフタートーク～	4ページ
3. 超福祉の学校プロジェクト 中間発表	5ページ
スペシャルイベント	5ページ
超福祉の学校 × ヘラルボニー	
オンライン美術館「HERALBONY #ZoomArtMuseum」@超福祉展	
<b>&lt; DAY2 9月6日 (日) &gt;</b>	
4.知的障害のイメージを変える超アート	6ページ
5.障害のある人の働き方、未来のカタチ	6ページ
6.特別支援教育におけるICTの活用	7ページ
7.超福祉展がつくった「共生社会」の学び～コロナ時代に共に生きるとは～	7ページ
<b>アンケート結果概要</b>	8ページ

## < 開催期間 >

2020年9月5日（土）～6日（日）

## < 配信場所 >

渋谷ヒカリエ8F「8/」

2020年9月5日～6日の2日間、「超福祉の学校2020 障害の有無をこえて共に学び、つくる共生社会フォーラム」と題し、文部科学省主催、NPO法人ピープルデザイン研究所共催にて開催。昨年、一昨年に引き続き、今年で3回目となった今回は、ICTの活用や地域の中での学び、就労や芸術活動を通じた社会参加などをテーマとした7つのプログラムと、オンラインの体験イベントの計8プログラムを用意。全国どこからでも参加可能となり、2日間で約1,400名の方にご参加いただくフォーラムとなりました。

## 超福祉の学校2020 ライブペインティング

The Blue Love sense+KAZが、ライブペイントにて超福祉の学校を彩ります。

※当日のライブペイントの様子、ならびに過去の作品は「超福祉展」HPよりご覧いただけます。



**DAY01 9/5(sat)**

# 障害のある人の学びの場 ×コミュニティ・デザイン

2つの学びの場の事例をもとに、障害の有無を超えてつながる人と人、新たに生まれるコミュニティの価値と創造について考えを深めていきます。

-  **浦野 耕司** ファシリテーター  
(知的障害者福祉教室GAYA運営委員長)
-  **山崎 亮** ゲストコメンテーター  
(studio-L代表/コミュニティ・デザイナー)
-  **笠原 千絵** 登壇者  
(上智大学 准教授)
-  **大森 梓** 登壇者  
(NPO法人障がい児・者の学びを保障する会 代表理事)

知的障害者福祉教室  
GAYA メンバーのみなさん

< 会場風景 >

参加人数：187名



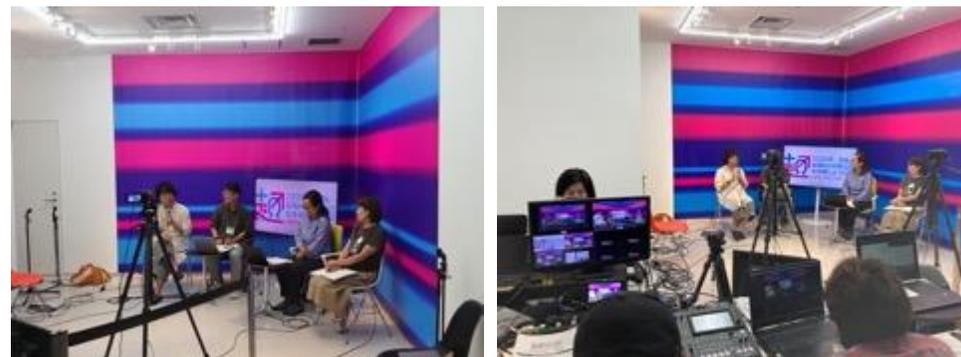
# 障害のある人の学びの場 ×コミュニティ・デザイン -アフタートーク-

13:00~14:30に開催された「障害のある人の学びの場×コミュニティ・デザイン」で話されなかった内容や、視聴者からの質問などに触れ、アフタートークとしてさらに議論を深めていきます。

-  **浦野 耕司** ファシリテーター  
(知的障害者福祉教室GAYA運営委員長)
-  **山崎 亮** ゲストコメンテーター  
(studio-L代表/コミュニティ・デザイナー)
-  **笠原 千絵** 登壇者  
(上智大学 准教授)
-  **大森 梓** 登壇者  
(NPO法人障がい児・者の学びを保障する会 代表理事)

< 会場風景 >

参加人数：151名



**DAY01 9/5(sat)**

**超福祉の学校  
プロジェクト  
中間発表**

「超福祉の学校プロジェクト」として昨年度から探求してきた共生社会実現に向けたアクションを、各グループから発表します。商店街での就労体験、図書館×最先端のテクノロジー、誰もが参加できるサッカーを通じた交流と学びの場づくり、障害のある子どもたちの「やりたい」を応援する地域の場づくりなど、従来の福祉の枠組みを超えた魅力的な7つのプロジェクトが進行中です。

**森 祐美子** ファシリテーター  
(認定特定非営利活動法人 こまちぶらす理事長)

**須藤 シンジ** 助言者  
(NPO法人ビープルデザイン研究所代表)

**広瀬 都** 助言者  
(NPO法人ビープルデザイン研究所 理事 /株式会社トーンアンドマター代表取締役)

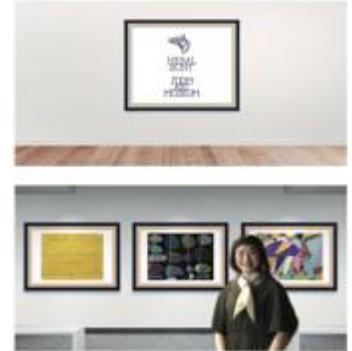
< 会場風景 >

参加人数：151名



**超福祉の学校  
×ヘラルボニー**

主催：株式会社ヘラルボニー  
オンライン美術館  
「HERALBONY #ZoomArtMuseum」@超福祉展  
開催！  
※音声認識ソフトによる字幕投影を予定しております。



< 会場風景 >

9月6日14:30～：30名  
9月6日16:30～：25名  
9月7日14:30～：45名  
9月7日16:30～：27名



DAY02 9/6(sun)

# 知的障害のイメージを変える超アート

知的障害者が創作するアート作品やその製作過程から、自己表現や社会参加の可能性について考えていきます。

- 松田 崇弥** ファシリテーター  
(株式会社ヘルパルボニー代表取締役)
- 横溝 さやか** 登壇者  
(文部科学省スペシャルサポート大使/studio COOCA)
- Gaku** 登壇者  
(アーティスト/株式会社アイム)
- 中尾 大良** 登壇者  
(studio COOCA)
- 佐藤 のり** 登壇者  
(株式会社アイム所属)

< 会場風景 >

参加人数：130名



# 障害のある人の働き方、未来のカタチ

新しい手法やテクノロジーを活用し、働くことを通じて障害者の社会参加を実現してきた方々の取組を共有。これからの働き方とその未来を考えていきます。

- 田中 真宏** ファシリテーター  
(NPO法人ビープルデザイン研究所 ディレクター)
- 吉藤 オリイ** 登壇者  
(株式会社オリイ研究所所長)
- 梅原 みどり** 登壇者  
(シフトバンク株式会社人事総務統括 CSR本部 CSR部 多様性推進課 課長)
- 酒井 文彦** 登壇者  
(大東コーポレートサービス株式会社 取締役)

< 会場風景 >

参加人数：251名



**DAY02 9/6(sun)**

# 特別支援教育におけるICTの活用

文部科学省やソフトバンクが取り組む、特別支援教育におけるICT活用の方針や取組をふまえて、特別支援教育におけるICTの活用の可能性を考えます。

- 
**須藤 シンジ** ファシリテーター  
(NPO法人ビーブルデザイン研究所代表)
- 
**佐藤 里美** 登壇者  
(ソフトバンク株式会社 魔法のプロジェクト ディレクター/東京大学 先端科学技術研究センター 支援情報システム分野 協力研究員)
- 
**青木 高光** 登壇者  
(独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 研修事業部主任研究員/NPO法人ドロップレット-プロジェクト代表理事)
- 
**深草 瑞世** 登壇者  
(文部科学省部中等教育特別支援教育課 特別支援教育調査官)

< 会場風景 >

参加人数：305名



# 超福祉展がつくった「共生社会」の学び -コロナ時代に共に生きるとは-

3年目を迎える超福祉の学校の取組をふり返りつつ、新型コロナウイルスと共存するこれからの「共生社会」について考えていきます。

- 
**須藤 シンジ** ファシリテーター  
(NPO法人ビーブルデザイン研究所代表)
- 
**織田 友理子** 登壇者  
(一般社団法人WheeLog代表/YouTube専科女子ウォーカー)
- 
**大日方 邦子** 登壇者  
(文部科学省スペシャルリポート大使/一般社団法人日本パラリンピック協会 (PAJ) 会長)

< 会場風景 >

参加人数：126名



回答数：98

## < 参加者の居住地 >

### 26都道府県

(北海道、岩手県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、長崎県、熊本県、宮崎県)

## < オンライン開催に関する感想 >

- ・ 昨年に引き続きの参加でした。直接対面できないもどかしさがありますが、オンラインで気軽に参加できるという利点もあったと思います。既にお考えとは思いますが、コロナ禍が収束した後は、対面とオンラインを併用したプログラムも設定して頂けると多くの方がアクセスできるようになるのではないかと思います。
- ・ 今回、東京まで行かなくてもオンラインで参加することができたので、ぜひ続けていただきたい。
- ・ オンラインのおかげで参加できました。広島からの旅費は、予算化されていません。大変ありがたかった。
- ・ 地方にいる自分としては、オンラインでなければ参加しようとは思えない経験ができました。  
この公開形態で（また文科省に）障害児者の最前線を啓発していただきたい。
- ・ コロナ禍で軒並み中止になる中、開催いただいて嬉しかったです。  
田舎にすんでいるのでオンラインで今回のようなお話を聞いて本当に良かったです。
- ・ 地方に住んでいるのでオンライン開催がありがたかったです。 コロナが終息してもオンライン開催してもらえると嬉しいです。
- ・ オンラインとリアルのバランスをとった多様な開催方式を今後も検討していただきたいです。
- ・ 今後もオンラインで視聴できる企画を期待しています。
- ・ 初のオンライン開催でしたので致し方ないと思うのですが、2日間参加させていただいて両日ともにネット接続やPC設定等のトラブルが生じてしまい、貴重なお話を伺えるお時間が短くなり残念でした。 今後もオンライン開催が必要になる状況とされますので、ぜひ見直しをお願いいたします。
- ・ ネット環境が悪かったせいか、うまく入れなくて難儀しました。音声も途切れがちで、画面も凍ることが多かったです。  
でも、こういう試みはとても貴重でありがたいです。知らなかったことも多く、とても感動しました。もっと増やしてください。
- ・ 途中トラブルもありましたが、新しい視点を与えていただき、自分の発想が広がりました。  
ZOOMでの参加は地方からも参加できるため、今後もこのような機会をぜひ作っていただきたいと思います。
- ・ オンラインはトラブルもありますが、参加のハードルは下がります。 ありがとうございました。